

トヲシク おじやんと、はじめてのちからするの

※SE：靴を履く音

後ろ・遠田から

( akr\_0039) あから「 も……おじやん、 ま！」 と叫べる。」

正面・遠田から

( akr\_0040) あから「 仕事……、 働か！」 と叫ぶ。」

マイクに近付ぎながら

( akr\_0041) あから「 ……」

正面近く

( akr\_0042) あから「 やだ。お家にいる。 あかり、 おじやんから離れたくない」

左耳近く

( akr\_0043) あから「 え……離れないやん。 おじやんと、 ずっと一緒にいるんだもん」

( akr\_0044) あから「 今田から、 働かなくていこいんだよ。 あかりがおじさんを養つてあげる」

正面・通常 (マイクに背を向ける)

( akr\_0045) あから「 そしょ……お金ないだくせや持つてね」、 おじやんの「 せこい」 と、 なんでもしてあげる

正面・通常 (マイクを向く)

( akr\_0046) あから「 もぐな！」 と叫ぶ。」

( akr\_0047) あから「 ……おじやんが、 もう少し見ずかしがりやるのかわからな」

正面・近め (近付ぎながら)

( akr\_0048) あから「 もう お見へだ顔見し もう」 と

( akr\_0049) あから「 シ――――」

( akr\_0050) あから「 ……懇れでるおじやん、 かわい」

## 左耳近づ

( akr\_0051) あから「 カキイ 」

( akr\_0052) あから「 ねじねじねじ、キスしだ!」とおねり

( akr\_0053) あから「 好きな人同士が、歯と歯をくへひたし、かきいとすれり」

( akr\_0054) あから「 あからせーだ!」とがなーかーり……

ちゅり……かきいわゆり、かきい……」

( akr\_0055) あから「 ふふり、リハヤヒト音だけ真似してねー」

## 左耳舐め

( akr\_0056) あから「 ジヤ……ねじねじねじだり だらしにみたこな……」

( akr\_0057) あから「 .....ねじねんせ、あからとすれりとやー歯じ、チヨシトすれの.....」

( akr\_0058) あから「 好きな人同士がする」とだから、ねじねんせがよけれーあかりはねじさんのが好きだし.....おじねんせじう思ひしてねー」

## 正面・近づ

( akr\_0059) あかり「 余のたばかりとか関係ない。ねじねんせが、あからと.....キスしたいかどつか.....それだけの」とだよ」

( akr\_0060) あから「 .....それに、あかり知りてる。ねじねんせが毎日、夜遅くに疲れた顔をしてお家へ帰つてこつてゐる」

( akr\_0061) あから「 」のままだと、これから先むずいとそんな生煎」なあね.....ねじねんせ、どんじん疲れた顔になつちやう.....」

( akr\_0062) あかり「 働きになんかいかないで、あかりと一緒にじよみ。あかりなら、ねじさんを疲れた顔にさせなーかーり.....」

## 右耳・近づ

( akr\_0063) あかり「 そ.....かきい.....あれ、どーこよー.....頬つべたこキスするだけでもすいこ恥ずかしこ.....」

ふつむべ (膝立ちぐらこの高やう)

( akr\_0064) あかり「 憶のねじさんの顔、見られなくなつた.....」のねかしこ.....」

( akr\_0065) あから「 腰のくにしたださじも」つなに「、歯と歯でしたふどうなつわやうの.....かな.....」

## 正面・近く

( akr\_0066) あから「 .....おじちゃんは氣にならない?  
キスしたひ、どんな感じなのか.....」

( akr\_0067) あから「 あからせ.....か！」  
だから.....おじちゃんとなり、してみた」  
「.....」

## 右耳・髪

( akr\_0068) あから「 .....キスしてみる。  
やつ方わからないから、おじちゃんがこれまで.....」

( akr\_0069) あから「 .....ねえ、いいぢしへ、おじちゃん.....  
働きにいくのなんてやめて、お部屋で一杯ちゅーぱりつよ」

## 左耳近く&amp;右耳近く (移動しながら) ※顔中にあからだキスしてゆるイメージ

( akr\_0070) あから「 わきの.....からひ、わきの.....  
おじさんかしつくせんせー、おひと類ひペー」といふ.....」

( akr\_0071) あから「 そ.....わきの.....からひわきの.....  
なんだかこいつになると.....お胸がドキドキして.....  
おじさんから離れられなくなる.....」

## 左耳・髪

( akr\_0072) あから「 .....じいの? 動きにいかない?.....  
わきの、ん.....わきのわきのわきの.....  
おじさん、田が蕩けておねやつてるね.....」

( akr\_0073) あから「 ジのま、ダメなオトナになりやつて.....  
じいじょ」.....ダメになつちやつて.....」

( akr\_0074) あから「 むずかしく考へる」となんでないよ.....おじちゃんを  
縛つけてたものを、ぜーんぶ捨てやばせこいだけ.....」

( akr\_0075) あから「 ょくかんがえてみて?  
おじさんが本当にした」とはなー」

( akr\_0076) あから「 ね仕事に行って働く」とはなー。  
無限にちゅーする」とはー」

( akr\_0077) あから「 .....くす、まだ迷つてるんだ。おじさんと真面目なんだね。  
でも、だからがんばりますか? 疲れかうんだよ?」

( akr\_0078) あから「 いひやつて.....耳たぶをあむしたひ.....  
少しだけ不真面目になれそう。おじさんとおじさん、じいじー」

## 左耳・騒ぐ

( akr\_0079) あかこ「…………あー、カラダがびくんなくなってる……

( akr\_0080) あかこ「あむ……ん……あかりに耳をあむってされるの好きー。」

( akr\_0081) あかこ「ねえ、声出しだ……おじちゃんのそんないいな顔……」

( akr\_0082) あかこ「はあ……反対側の耳も……ん、ダメ。顔は動かさないで……ねじれとか、キスしてくれるまでもやめない……続けるの……」

( akr\_0083) あかこ「そん……せあ……む……ん……あむ、かわい……はあ……ん、あゆつたまひ、あゆつたまひ……んはあい……じつする、隆参する……」

( akr\_0084) あかこ「早くあかりにキスしないと……お耳、ひるひとろに……なつたやうよ。……ふふひ、おじやそれいきから口が開きっぱなしになつてる」

## 正面・近づ

( akr\_0085) あかり「あー、くだらしない顔……そんな顔をしたたり、お仕事に行けないね……他人には見せられないやうね……」

( akr\_0086) あかこ「え、うするの、おじちゃん。まだキスする気にはないなー? やれども……わいと耳をイジメられたいから、じつとしつるの~」

## 左耳・騒ぐ（移動しながら）

( akr\_0087) あかり「…………それならそれでいいよ? 動きになんて行かないで、ずっとあかりにイジメられてれば、よ……手足の力を抜いて……顔の力も……」

( akr\_0088) あかこ「ん、はあ……わゆり、れゆり……んはあ、む……わゆり、はあ……はあ……ふう……おじちゃんを立くなへしてせわるの、楽しくなつてきた……」

( akr\_0089) あかり「あかり、おじちゃんが考えてる」とわかるよ……「こんなに小さい女の子にキスをするなんて、オトナの世界では許されないんだもんね……」

## 左耳・騒ぐ

( akr\_0090) あかり「だから、がんばって我慢しinる……  
小さじ女の子に手を出すのは、せいかないト……  
自分でに幅い聞かせて……」

( akr\_0091) あかり「 でも……でもね、それが許される世界があるの……  
「」は、あかりに何をしてもら、世界……  
小れじ女の子を好き」とい世界……」

( akr\_0092) あかり「 ふふ……その調子……“くそく”、カツダからの余韻な力が  
抜けじつて、あまだと、「」の世界から  
抜け出せなくなつねやうね……」

( akr\_0093) あかり「 足元から、ずぶずぶ埋もれて、いつで……  
もがいても、もがいても、あかりの手の「わざ」  
おじさん、自分に素直になつちやお……」

( akr\_0094) あかり「 やつすれせ業になるよ……ね……  
ねじさんばんな風にキスをしたじ、と思ひてた?  
あかりの唇を見て、じくね」とを考へたの?」

( akr\_0095) あかり「 じつょにダメになつねやね……  
」のまま、ずぶずぶ、ずぶずぶ、ずぶずぶ、ずぶずぶ……  
ほり、もう胸の辺りまでずぶずぶになりてる……  
じハヌシトしたる、隠れかやうね……」

( akr\_0096) あかり「 大丈夫だよ、あかりも一緒にだから……  
ふたりで一緒に溺れて、じくの……  
溺れた先には何があるのかな……おじさんせせらへん。」

## 正面・近く（移動しながら）

( akr\_0097) あかり「 ……やいへ困った顔をしてるね。  
溺れたいの、溺れたくない、いい顔……オトナにならね、  
難しい」とじつぱい考へかやうだね……」

( akr\_0098) あかり「 でもあかり、そういうオトナのねじさんをダメにしたい……  
ねじさんをダメにするために、「」く来たの……」

( akr\_0099) あかり「 ねじさんもしかして、あかりにやいへ耳を  
おむあむしきほしき……」

## 右耳・騒ぐ（移動しながら）

( akr\_0100) あかり「 ……やうだつたんだ。そんなに「」が氣に入つたんだね……  
え、あむちゅうはあ、むんつ……  
ちゅ、あむんつ……」

## 右耳・瞼

( akr\_0101) あかこ「 せお……ねじねく、わいと耳をいり回すて……  
え……あむ、わむい……んい、せお……せあ……せあ……  
」「ハーハのせむかな……」

( akr\_0102) あかこ「 ハーい……ハーハ、ねじねく、ねじねく、  
耳の中にあかこ、の髪が入りて、ハーハ、ハーハ、  
」

( akr\_0103) あかこ「 ハーい……ハーハ、ハーハ、  
」

## 左耳・瞼 (移動しながら)

( akr\_0104) あかこ「 反対の耳をかくすておせうね……」

( akr\_0105) あかこ「 ハーい……ハーハ、ハーハ、ハーハ、  
ねじねく、ハーハ、ハーハ、ハーハ、  
それ以上、暴れたる、ハーハ、ハーハ、  
」

※SE：「シシシ」に転む音

## 正面・近め

( akr\_0106) あかこ「 ……小ちこ、女の手に両腕を押されたり、  
ねじねく動けなくなつたやうだね」

( akr\_0107) あかこ「 イハーハのま、せんねこ……トコトコのかな……ハーハのま、  
あかこ、悪い」トコトコのま、

## 左耳・瞼 (移動しながら)

( akr\_0108) あかこ「 ……ドモ、ねじねくも悪いんだよ。  
シテモで経つても、あかりにキスしてくれなこか、ハーハ……」

( akr\_0109) あかこ「 だかく……ん、はあむ……んい、わむい……  
はあ、れわい……あ……」めんねじり、耳の  
舐めぬいもこはなかつたのこ……」

( akr\_0110) あかこ「 ……あれい、ねじねく、嫌じやなじの、  
耳を舐められぬの、耳の中に水が入りて、くいの、  
気持ち悪くない、」

( akr\_0111) あかこ「 ……やうなんだ、ねじねくは、トコトコのまここんだ、  
わむい、れわい……れわい……、はあ……れわい……  
れわい……」

( akr\_0112) あかこ「 ハーハ、ねじねく、お」こ声が出る……せ、  
ねじねくの耳の中、あかこ、の舌が入りて、くも……」

## 左耳・騒れ

( akr\_0113) あか「 ん、れわい、わわい、れわい、れわい、れわい、れわい、  
ちゅう、ん、れわれわい、れわん、れわい、  
れわい……」

( akr\_0114) あか「 はあ……ん、なんか……おじちゃんの耳を舐めている……  
カラダが熱くなっている……」  
初めて……不思議な感じ……」

( akr\_0115) あか「 ん……せあ、」  
れわい……舐め……あわ……おじちゃんのかわいい声、  
たぐれん膚土ね……」

( akr\_0116) あか「 わわい、ん……れわい、れわれわい、れわい……れわい、  
おじちゃんが……おじちゃんダメになってしまっているのがわかる」

## 正面・近め（移動しながら）

( akr\_0117) あか「 ……でも、反対側の耳せみいこみがかな……  
( 舌を出しながら) せ、」  
の舌でじ、せ、舐めでせむ、  
耳の中、クチュクチュ れわい……」

( akr\_0118) あか「 われなり……おじちゃんがあかりにキスしてくれたら、よ……  
してくれないな、」  
の舌がう」  
の舌がう」  
耳の中、クチュクチュ れわい……」

( akr\_0119) あか「 こ、こ、の、おじちゃん、耳、舐めでせし、ん、だよね……  
少し唇を舐め出せば、触れられる距離」  
の舌でせむ、

( akr\_0120) あか「 ……ねえ、あかとキスしてダメになつたやね。  
おじちゃんの唇とあかの唇で……かき——つて……ね？」

( akr\_0121) あか「 ……ふ、ふ、い。まだ迷いつるみたいたいだら、  
もう、衝きこじ、」  
あわせ、あかとキスして思つてないみたいだね……  
嬉しく……おじちゃん、仕事よりあかりを選んでくれたんだ」

( akr\_0122) あか「 それじやあ、次に選ぶのせむいね。  
あからとキスするか……」  
の舌でせむ、我慢を続けるか……」

( akr\_0123) あか「 あ……それともおじちゃん、やしき、  
女の子とキスした」とな、の……?  
だからやり方がわからな、……とか……」

( akr\_0124) あか「 ……もしゃうだとしでも、大丈夫だよ。  
あからもした」とな、やり方がわからな、の……  
じ、しょだか……」

( akr\_0125) あか「 せじめじ、のサベイト……れいと素敵だとねむかの……  
せ、」  
おじちゃんの指で、あかの唇を触つてみて……」

( akr\_0126 ) ねかこ「 やわらかさ ..... めぐらせるの指 ..... あくべ" パベ " ハル 。  
大抵へて ..... がくべ" ハル ..... そひ、 ん ..... あくべ 。  
ねじれり ..... 指 ..... そんひ、 わゆ ..... む ..... そんひ ん .....  
せねり ..... んわゆ、 わねり ..... そひ ..... そんひ ..... 」

( akr\_0127 ) ねから「 ちゅう ..... ん ..... 指 ..... 塗めればここの?  
んふつ ..... わかつ、れわい、ぴかや ..... はあ、おじやん .....  
息が荒くなつてる ..... ん ..... 指 ..... ぬつこめなくて平氣 .....  
おじさんが喜んでくれるなり、もひとつてあげたし ..... 」

( akr\_0128) めかこ「 ひねや、ちゅ ..... れるひ ..... せあ、 指先かひ .....  
ひねや、れりひ ..... ん ..... 根元 ..... ほぢ ..... ひねや、  
ねめひ ..... れるひ、ねめひ ..... せあ ..... 手のひ、  
ねめひ、ねめひ、ねめひ ..... やひ じきべする ..... ねめひ、  
ねめひ、ねめひ ねめひ ..... 」

( akr\_0129) めかっ「ん、せあ……あ……ねじねじに擦あつてくれいねの?  
急に……頭を撫でられたから……びりくっしー……  
でも、褒められるの嬉しいから……わひとねじねじ  
ゆび……舐め……んつんー? ええり、えりんー?」

( akr\_0130 ) あから「お、おじいちゃん……待つひ、そがまひ、がまひ……ひよ、  
ぢまひ、えがまひ……ひよん、ひよん、ひよん、ひよん——。」

（あき\_013）あかり  
んぢゅつ、んんつ、ぢゅううつ、んんつん！？  
んんつ、ぢゅつ、ぢゅうつ、んんつ、んつんん、  
んんんんんつ？…」

( akr\_0132) あかり  
んん、んちゅう、まあ、れろ、ちゅう  
んんつ……はあつ、ねじさんのキスつ……激しいよ、……つ、  
んんつ、んつんん……? なんんつ……? なんつ、んちゅう、んんつ、  
んちゅう、れろつ、ちゅう、んちゅう、んちゅう、んちゅう、んちゅう、

## 正面・近め

( akr\_0136) あかこ「 んんり、せあ、はあ、はあ、せあ、せあ、  
キスつて、あ、「ん、はあ、ねじやくのキス  
す」あ、れつて、力が、入らない……」

( akr\_0137) あかこ「 .....譲りなくて平氣だよ、おじやん、  
「 ジのまも、一人で禮儀で、わやね……」

## 左耳・囁き（移動しながら）

( akr\_0138) あかこ「 あ、「 ん、れせ、キスして、くれたが、」、「 そのお廻」、「  
ん、わき、はあ、む、れろつ、ん、わき、  
わき、れわつ、れわん、」、「 ひわや、わき、れわお」、「 」

( akr\_0139) あかこ「 ん、わき、れわつ、わき、ひわや、れわん、はあ、  
おじさん、が、ビクつて、してくれると、」、「 うれし、  
わ、と、せた、くな、ん、わき、はあ、れわい、  
ひわや、わき、う、れわつ、ん、わき、はあ、」

## 右耳・囁き（移動しながら）

( akr\_0140) あかこ「 ジ、わの、お耳、わ、わ、わ、」、「 う、ビク、ビク、  
れわつ、ん、せあ、れわつ、わき、ひわや、わき、  
ん、わ、わ、わ、ひわや、れわつ、」

( akr\_0141) あかこ「 わき、わ、わ、わ、わ、」、「 う、ビク、ビク、  
ねじやく、の、お耳、」、「 キスの、れんしゅう、」

( akr\_0142) あかこ「 おじやく、舌、使、う、が、す」、「 く、上、手、だ、た、か、」、「  
あ、かり、も、上、手、く、舌、を、動、か、せ、る、よ、う」、「 ん、れ、わ、  
ひ、わ、や、わ、き、う、れ、わ、れ、わ、」、「 」

( akr\_0143) あかこ「 ん、わ、わ、わ、わ、れ、わ、」、「 ひ、わ、や、わ、  
れ、わ、わ、ん、わ、わ、れ、わ、れ、わ、」、「 せ、あ、  
ね、じ、や、く、の、耳、」、「 あ、かり、の、ツ、バ、で、バ、タ、に、な、わ、や、い、だ」

( akr\_0144) あかこ「 わ、き、わ、わ、」、「 ひ、わ、や、わ、  
は、あ、まだ、」、「 お、じ、や、ん、み、た、い、」、「 に、上、手、く、舌、使、え、な、  
け、ど、」、「 耳、の、奥、に、も、」、「 ん、わ、き、れ、わ、」、「 は、あ、  
わ、き、」、「 ひ、わ、や、わ、き、」、「 」

( akr\_0145) あかこ「 ん、わ、き、わ、」、「 せ、あ、」、「 お、じ、や、く、の、耳、の、孔、」、「  
舌、を、入、れ、る、」、「 楽、し、」、「 わ、と、舌、を、動、か、し、た、方、が、い、い、  
ん、ち、ゆ、つ、」、「 れ、わ、つ、」、「 ん、」、「 ら、」、「 れ、わ、」、「  
れ、わ、れ、れ、れ、」、「 わ、き、」、「 ら、」、「 れ、わ、れ、れ、」、「 」

## 正面・近め（右耳から移動しながら）

( akr\_0146) あから「 ねえい、ん……ん……  
ねじさん、頬が隙だらけになっちゃう……ん……かわ  
わさり……かわい、かわい……あからのキスも……  
味わいたい……」

( akr\_0147) あから「 ん、ちゅい……ひかや、れろい……はあ、ひかや……かわい、  
ん、れろい……ひかや……わさり……んふ……ん……  
わさり、はあ……れろい……ひかや……ひかや……」

( akr\_0148) あから「 ねえい、ん……ふ……おじさんの顔……あからいのを  
絡ねると……あかりもピクッとかやう……でも」れ  
す「く……氣持ちいい……」

( akr\_0149) あから「 ん、ちゅい、せあ……い……キスをした時……「わい」と  
すいヒートもあれな」「」

( akr\_0150) あから「 ……おじさんは……くうう……あからいのキス……  
癖」なっせうう……氣持ちいい……やめられなくなつたやう……」

( akr\_0151) あから「 ……ふふふ……やめなくていいんだよ……  
あかりはおじさんのものなんだから……あからいも……  
気持ちいいキスいいぱいしたい……」

( akr\_0152) あから「 ん……れろい……わさり……ひかや……れろい……  
れわれわれわわ、ひかや……はあ、れろい……わさり……  
ひかや……はあ、おじさんわうあからいわうだね……」

( akr\_0153) あから「 最初の顔と顔つきもせんせん違つて……ダメな大人の顔に  
なつちやつてぐ……んわさり、れろい……ひかや、はあ……  
ひかや、れろい、ん……わさり、ひかや……  
わさり……」

( akr\_0154) あから「 はあ、おじさんの激しいキスもゾヤジキするたゞ……  
やれしいキスも好き……舌をくつくり動かして……ん、ちゅ、  
はあ……」「やつれ……絡み合わせて……ちゅい、れろい、  
ひかや、わさり……ひかや、れろい……れろい……」

( akr\_0155) あから「 ん、わさり、れろい……れわわわ……れろい、れろい……  
はあ……おじさん、働きにいかなくていいの？……  
ねじねぐの口から聞きたいな……」

( akr\_0156) あから「 これから働きなうのか、お家で……すいとあかりと  
キスをして……頭の中がドロドロになつて……  
んわさり、わさり……れろい……ひかや、わさり、ひかや……  
はあ、ねえいわがじらう……」

## 正面・近め

( akr\_0157) あかり「働きにいきたくなかったり だから あかりの顔を見て、舌を出してほしい……もひとキスしたいって……あかりに溺れたいって……」

( akr\_0158) あかり「…………ふふ、返事に迷いがなかつたね。  
ねじねん、かわいい……ん、はあむ……かわい、れひひ……  
ちゅう、ぴかや……はあ、かわい……れひひ……  
ぴかや、ちゅう……ひかや……れひひ……れろれろ、  
れひひ……」

( akr\_0159) あかり「 そ、わせり…………かわいひ…………今から始まるの……  
ねじねんとあかりの…………気持ちいいカンケイ……  
ねじねん、もう働くかなくていいんだからね……」

※トライック3へ